

取付説明書

風雅

(ふうが)

〈木粉配合樹脂〉

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。内容を良くご理解いただき、本書の内容(指示)にしたがってください。

施工を始める前に

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は一般住宅の一階相当分施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- ①部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に平置きしてください。栈木の上に乘せますと、反りが発生する場合があります。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品の上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ②設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか、事前に十分確認をしてください。決して床板は幅詰切断はしないでください。
- ③人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡がでます。本説明書に従い、向きをそろえて施工してください。
- ④正しく施工・組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ⑤デッキ上にフェンスを設置する場合、フェンスの取付説明書をあらかじめ確認し、その指示にしたがってください。
- ⑥施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- ⑦市販のサンドペーパーを利用する場合は、浅い傷の場合 # 60 ~ 100 ・深い傷の場合 # 24 ~ 40 を用いてください。
- ⑧施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

⚠ 施工上のご注意

- 束柱間の距離 : **1,800 mm max**
- 束柱からの大引持ち出し : **200 mm max**
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要の場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご利用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工中に人工木の表面についた表い傷は引き渡し前に市販のサンドペーパー(#60~100)で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いしてください。
- 材料特性上、静電気の発生が起こります。(時間経過とともに発生しずらくなっていきます。)

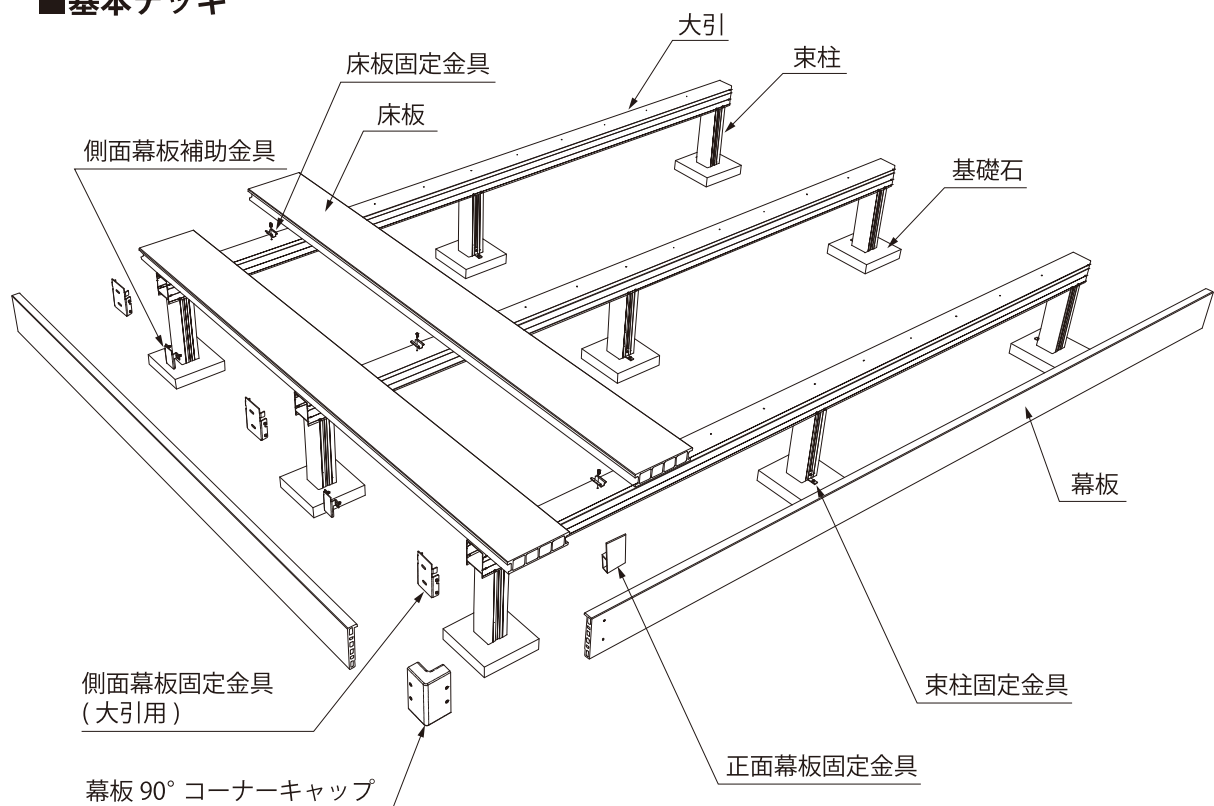
本書では、縦張りを基本とした施工方法を説明しています。

幕板連結部に 10mm の目地が出るように長さを調節します。

各部の名称

【1】各部の名称

■基本デッキ

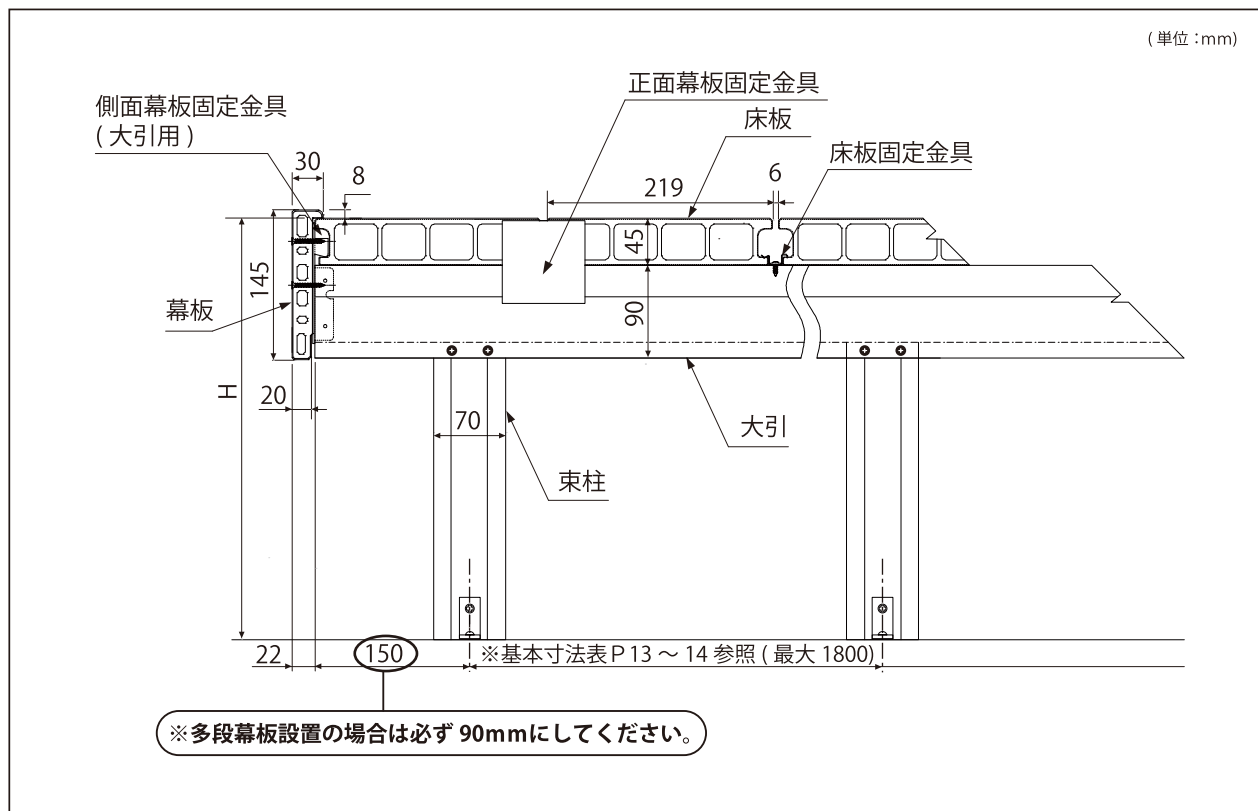


基本位置伏図

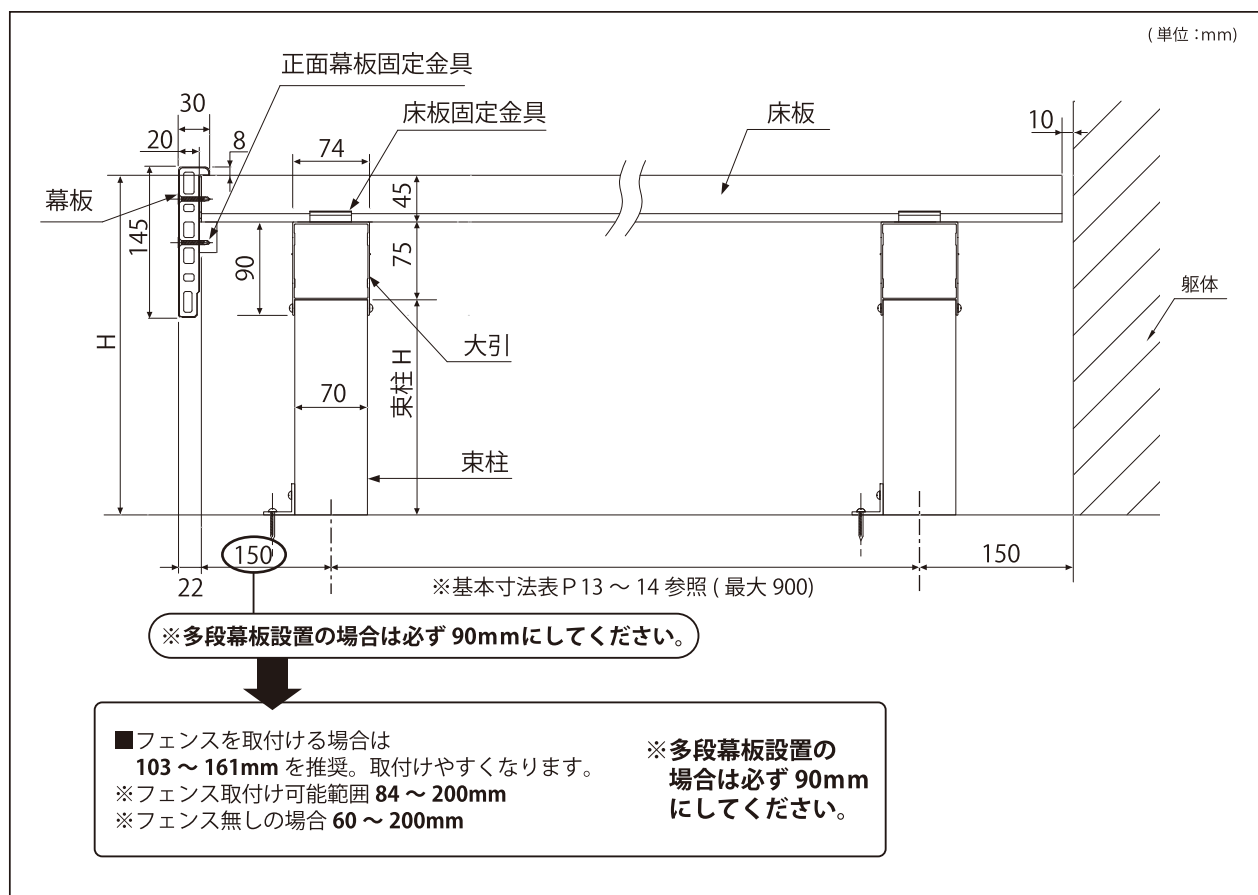
	1.5 間	2.0 間
3 尺		
6 尺		
9 尺		

【2】詳細納り

■正面納り図



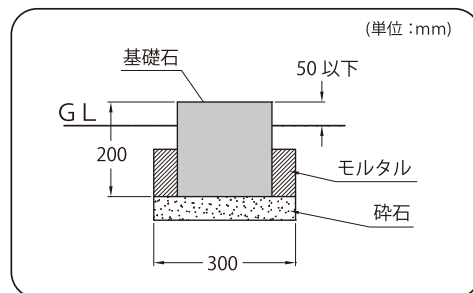
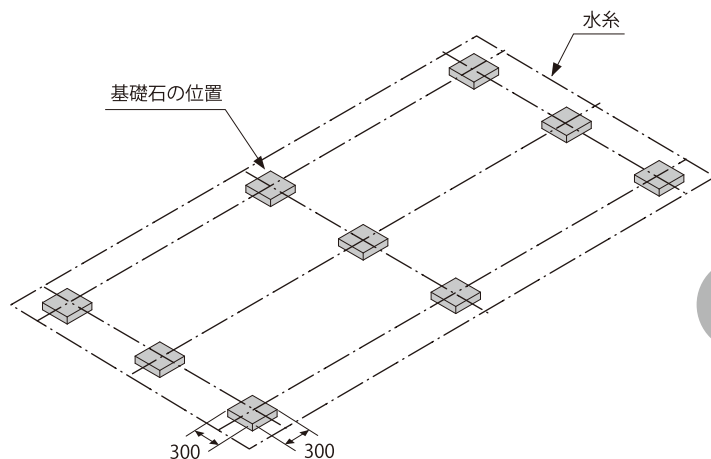
■側面納り図



束柱・大引の施工

【1】基礎の施工

基礎位置図を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。



①指定位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固めてください。

Point

この作業が十分でないと、基礎のひずみが発生する場合があります。

②基礎石を設置し、レベルを出してください。

③基礎石の周りをモルタルで固めて下さい。

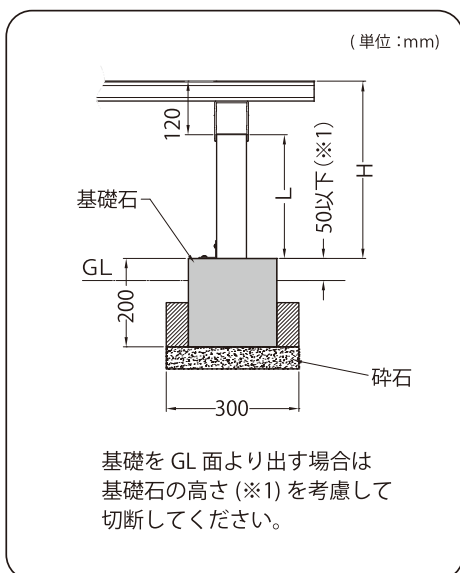
Point

モルタルで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

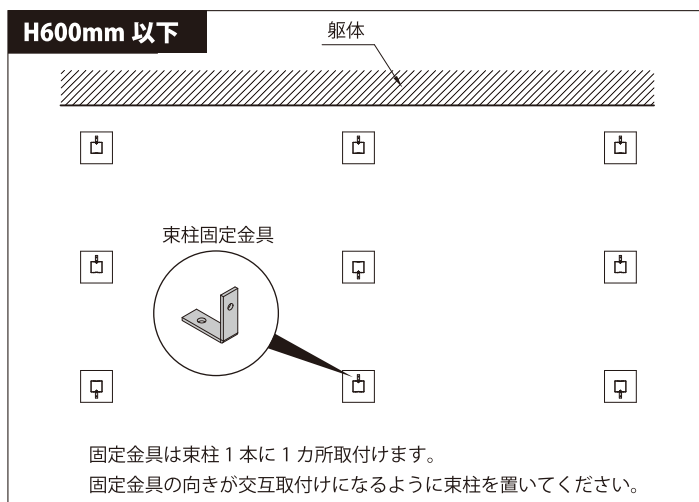
【2】束柱の加工

各々の束柱を必要な長さに切断し、束柱固定金具を取付けます。

①H寸法(デッキ上面高さ)を決定してください。



H600mm 以下



Point

束柱固定金具の基礎石への固定は大引取付け後に行います。

②束柱を切断してください。

■束柱 (単位: mm)

切断

$L = H - 120$

■調整束柱 調整束柱の調整範囲は L300 ~ 480mm(FL420~600mm) です。L 300mm以下 (FL420mm 以下) の場合は切断してください。

調整方法

調整範囲 L300 ~ 480mm

束柱 A

束柱 B

$\phi 4.2 \times 13\text{mm}$ ナベドリルねじ

ナットを緩め高さを調整し、水平・直角を確認してからねじで固定します。

(単位: mm)

L < 300 の場合

束柱 A

束柱 B

切断

切断

$L = H - 120$

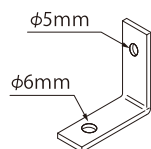
L300 ~ 480 調整可能

Point

調整束柱の切断は束柱 A は上面方向を束柱 B は下面方向より、同寸法で切断してください。

③束柱固定金具を取付けます。

束柱固定金具

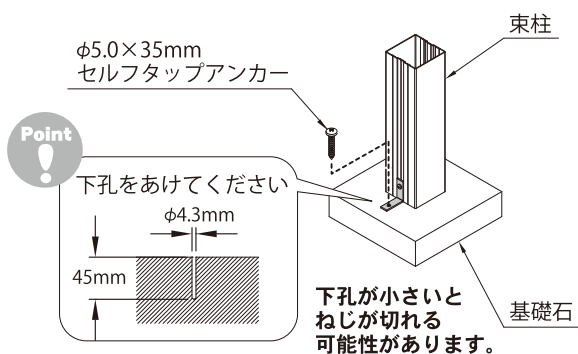


※金具の穴径が違います。
向きにご注意ください。

	■束柱の場合	■調整束柱の場合
H600mm 以下束柱	$\phi 4.2 \times 13\text{mm}$ ナベドリルねじ 束柱固定金具	$\phi 4.2 \times 13\text{mm}$ ナベドリルねじ 束柱固定金具

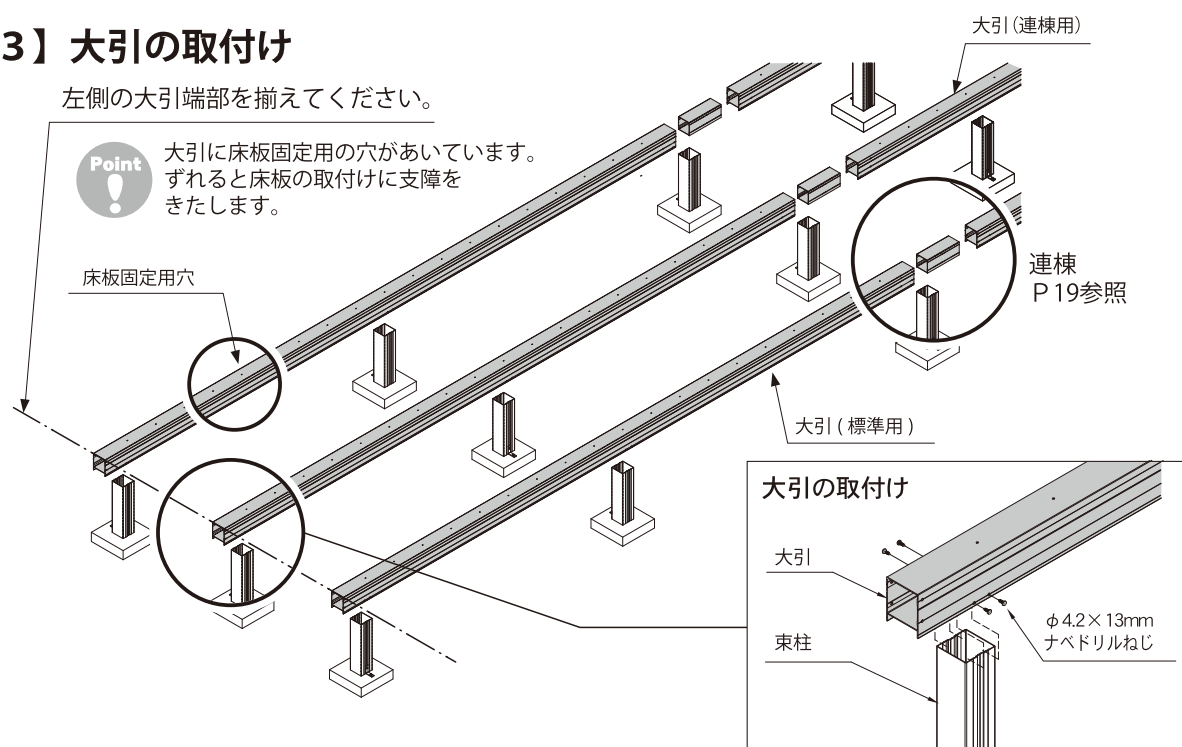
■束柱の固定

H600mm 以下束柱の場合



【3】大引の取付け

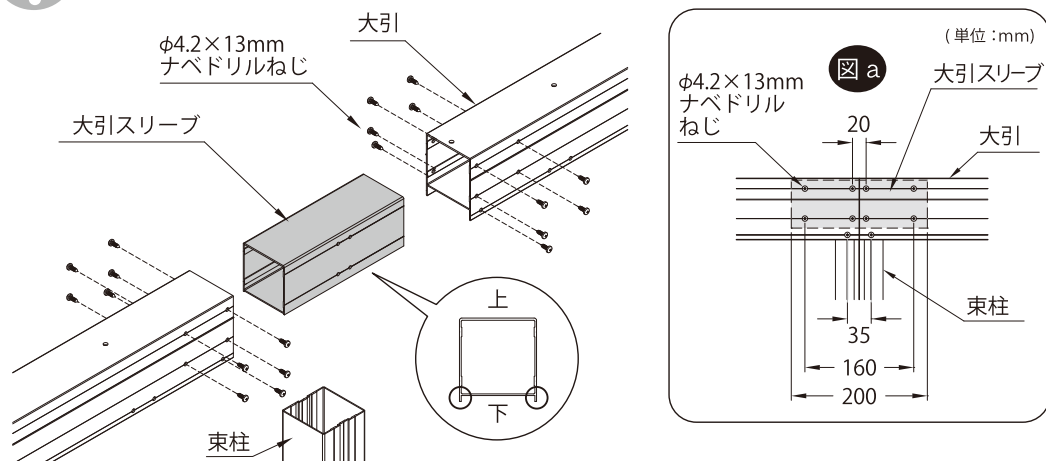
左側の大引端部を揃えてください。



■大引を連棟する場合

大引スリーブを大引に挿入してねじで固定してください。

Point 大引の連結部は、束柱の中央上部で付き合わせて固定してください。(図a参照)
大引スリーブの上下を確認してから組み付けてください。



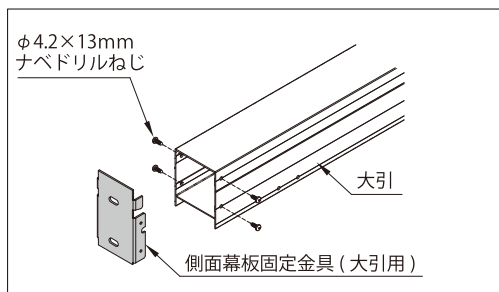
床板の施工

【1】側面幕板取付金具（大引用）の取付け

床板を取付けはじめる前に、側面幕板金具を大引に固定してください。

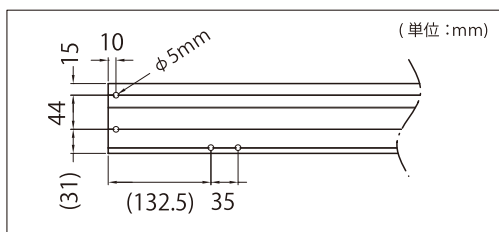
Point

反対側は床板を取付け終えてから取付けてください。

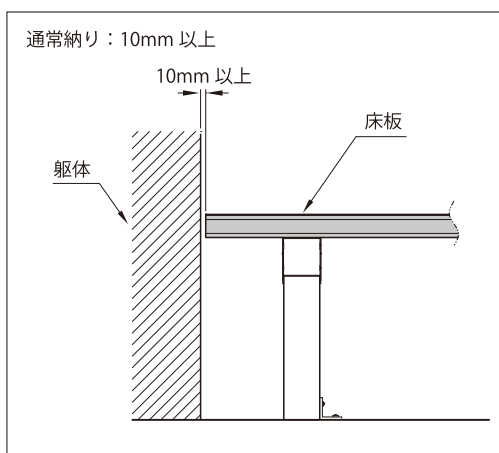


Point

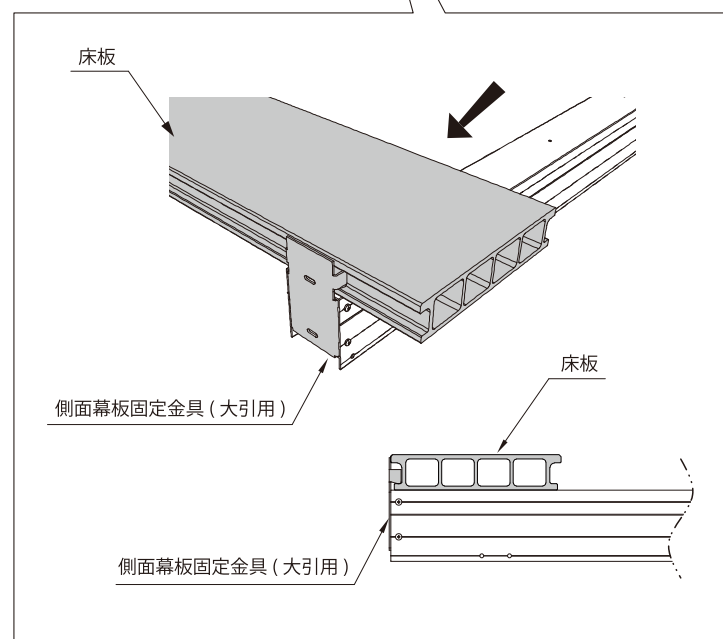
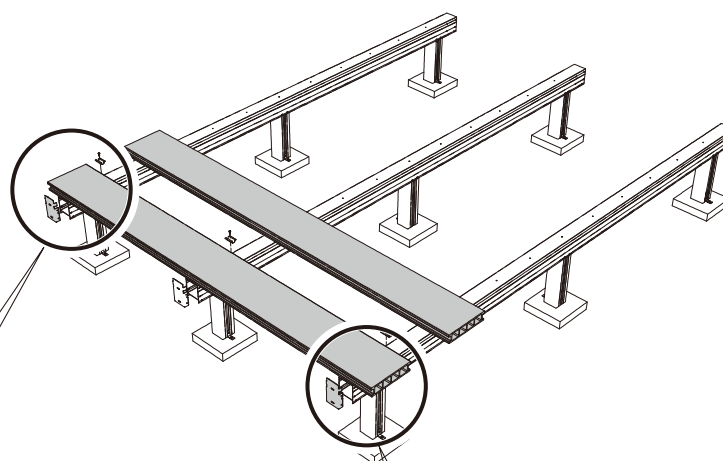
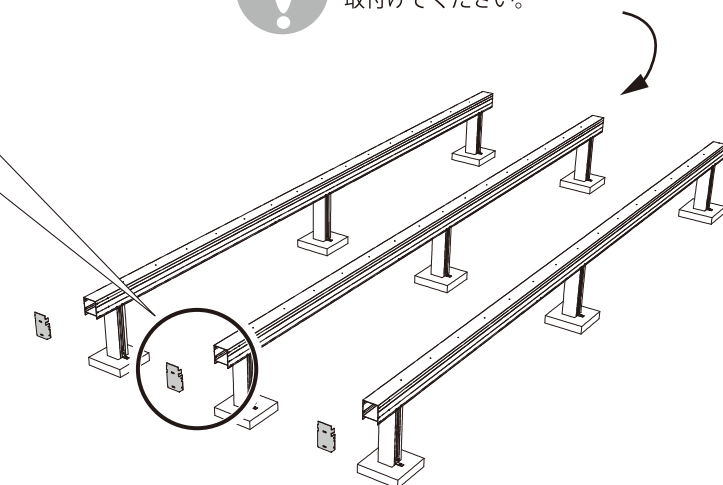
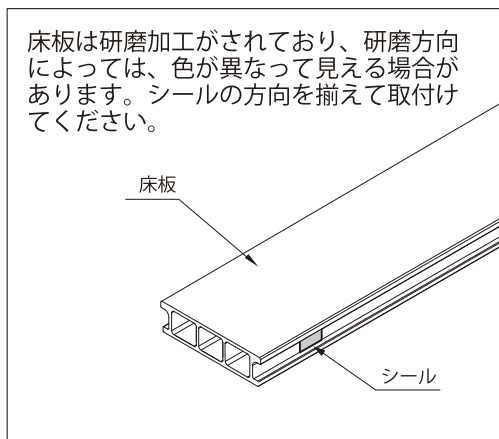
大引を切断した場合は、図bを参照して穴加工をしてください。



【2】床板の取付け



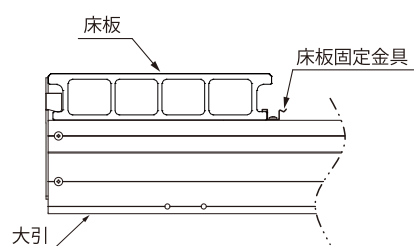
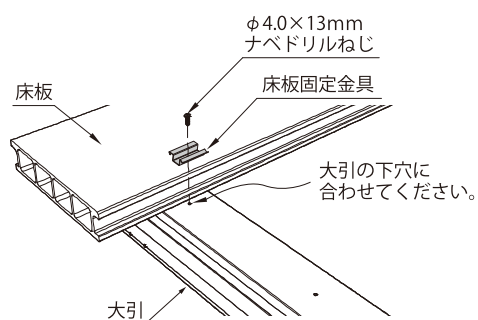
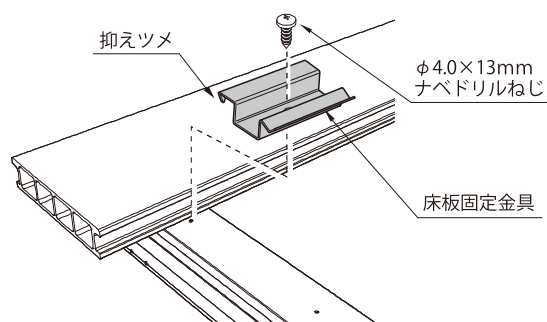
床板は研磨加工がされており、研磨方向によっては、色が異なって見える場合があります。シールの方向を揃えて取付けてください。



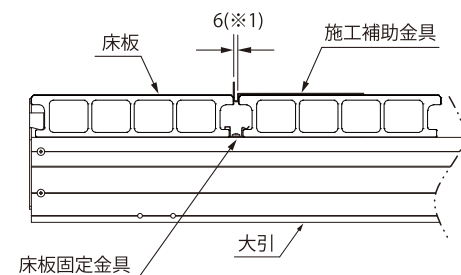
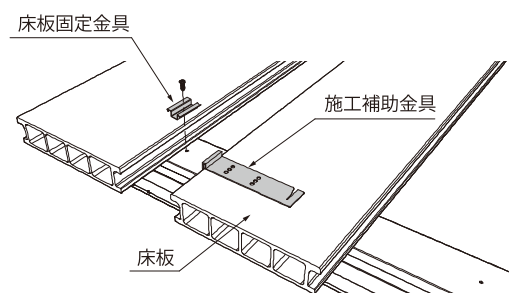
■ 中間部の取付け



床板固定金具には
向きがあります。

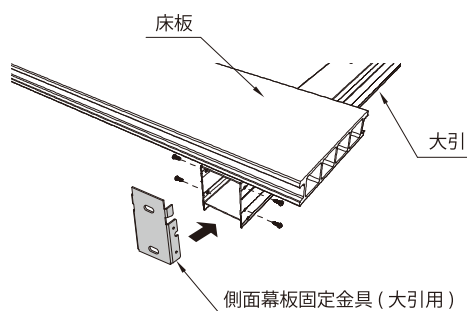


床板 2 枚目以降の固定金具も
同様に取付けてください。



床板同士のすき間が 6mm(※1) になるように
床板を床板固定金具に差し込んでください。

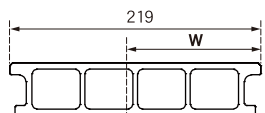
■ 端部 (最終) の取付け



側面幕板固定金具 (大引用) で固定します。

床板の間口調整

縦切り

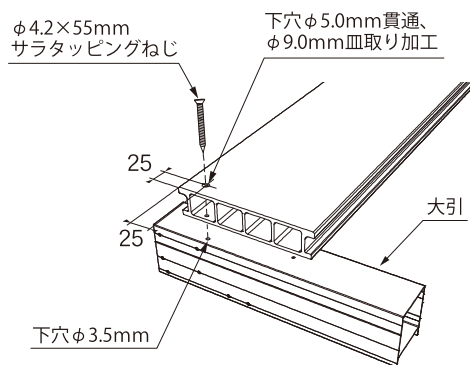


■床板の幅詰め×は幅詰め不可（単位：mm）

$W < 67$	×
$67 \leq W \leq 75$	スペーサーなし
$75 < W < 87$	×
$87 \leq W \leq 102$	スペーサー要
$102 < W < 113$	×
$113 \leq W \leq 121$	スペーサーなし
$121 < W < 133$	×
$133 \leq W \leq 148$	スペーサー要
$148 < W < 159$	×
$159 \leq W \leq 167$	スペーサーなし
$167 \leq W \leq 179$	×
$179 \leq W \leq 195$	スペーサー要
$195 \leq W \leq 206$	×
$206 \leq W \leq 219$	スペーサーなし

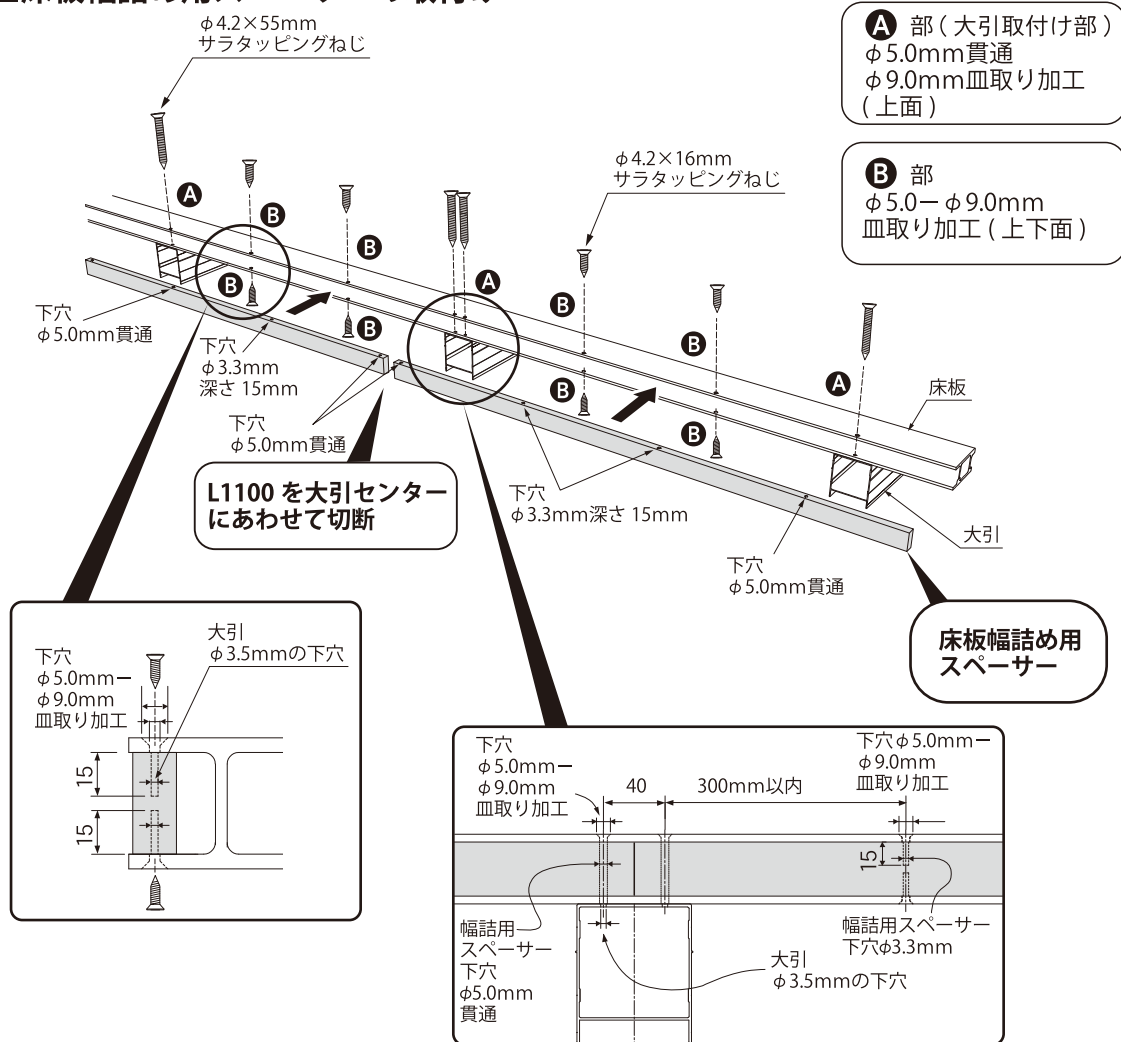
床板を直止めする場合

床板直止め用
ねじ使用



床板の間口調整／幅詰めをする場合

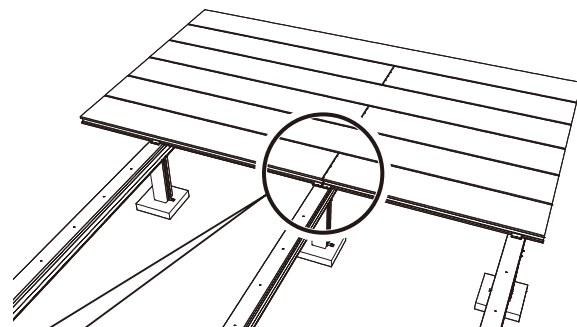
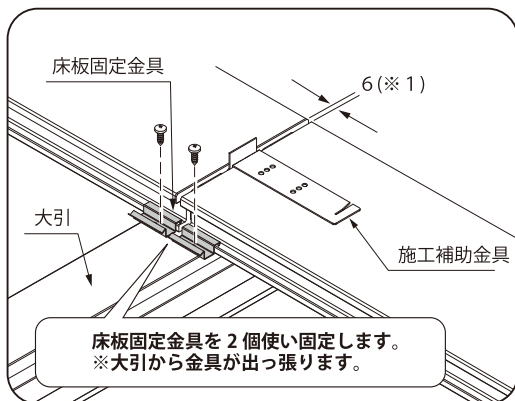
■床板幅詰め用スペーサーの取付け



床板を縦連結する場合

Point

床板を縦連結する場合は、必ず、千鳥張りにしてください。千鳥張りにしないと床板が変形するおそれがあります。



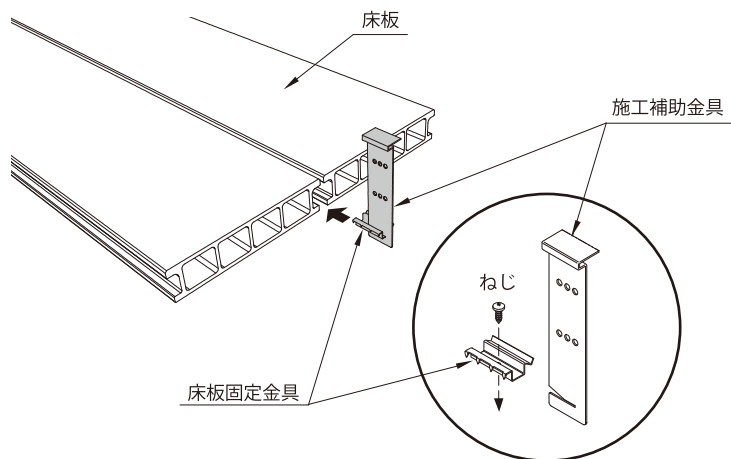
床板の連結は必ず、大引の上で行ってください。施工補助金具を使用した場合、床板連結部の目地は6mm(※1)になります。連結部の床板小口は軽く(1mm程度)面取りします。



注意

人工木の特性上、寒暖で伸び縮みが発生します。
真夏：6mm程度の伸び
真冬：6mm程度の縮み
必要に応じて施工時に目地幅を調整してください。

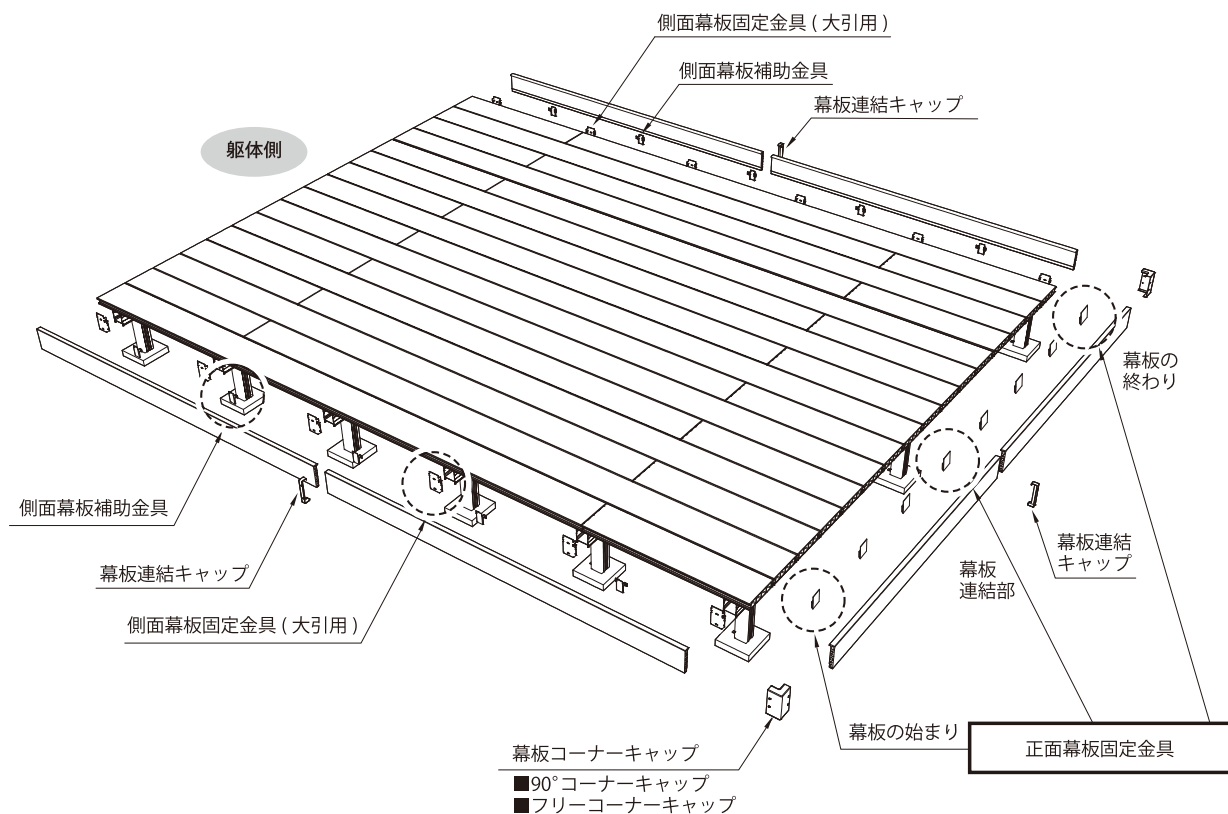
床板固定金具の後入れ方法



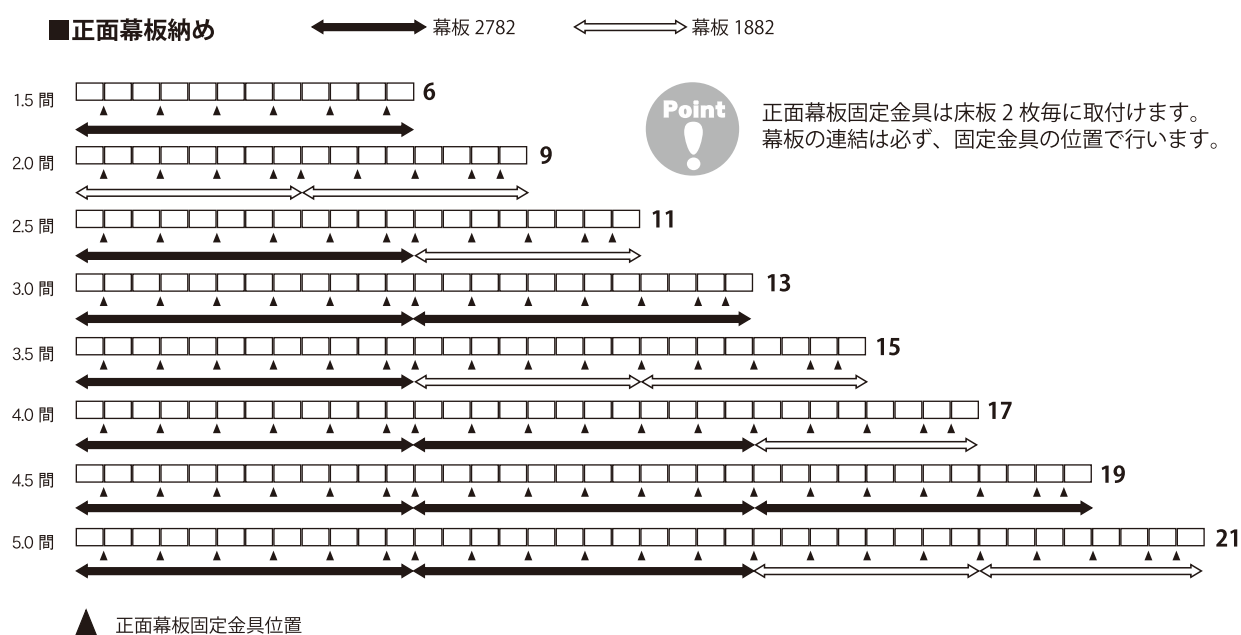
幕板の施工



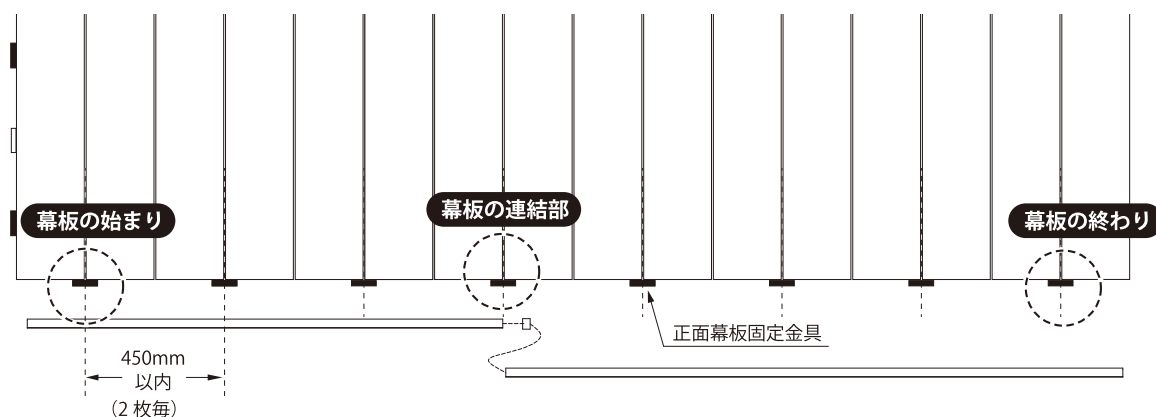
フェンスを取付ける場合は、幕板を取付ける前にフェンスを取付けることをお勧めします。詳しくは「フェンス組立説明書」をご覧ください。



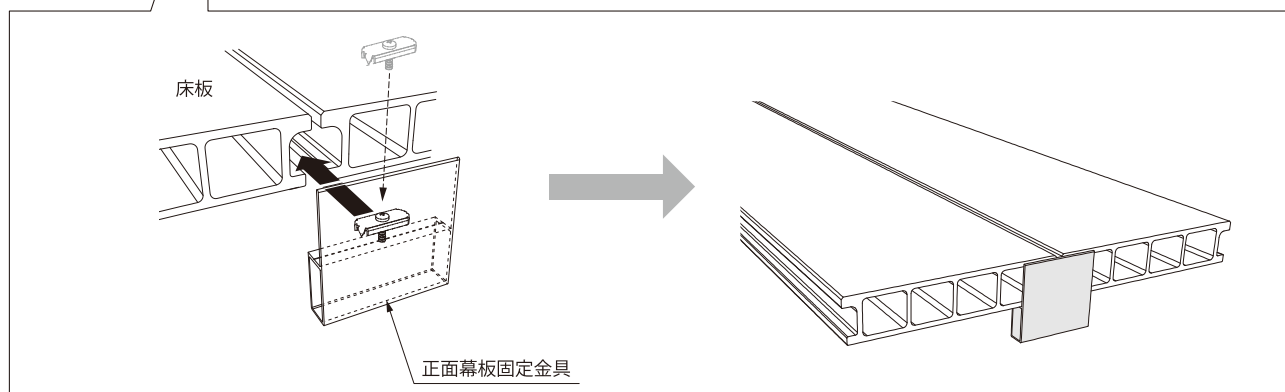
■正面幕板納め



【1】正面幕板固定金具の取付け



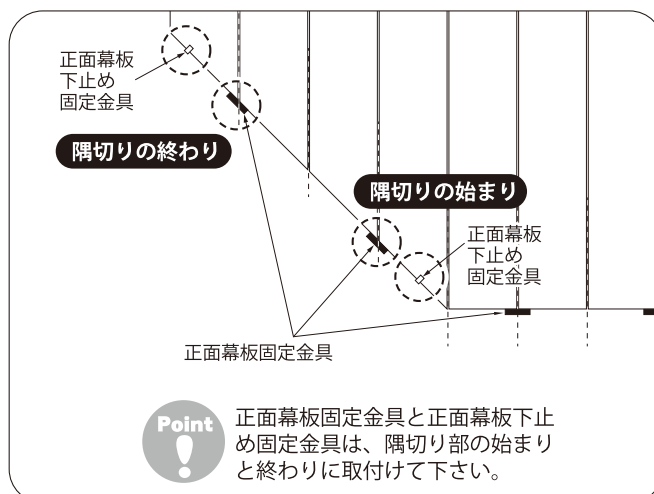
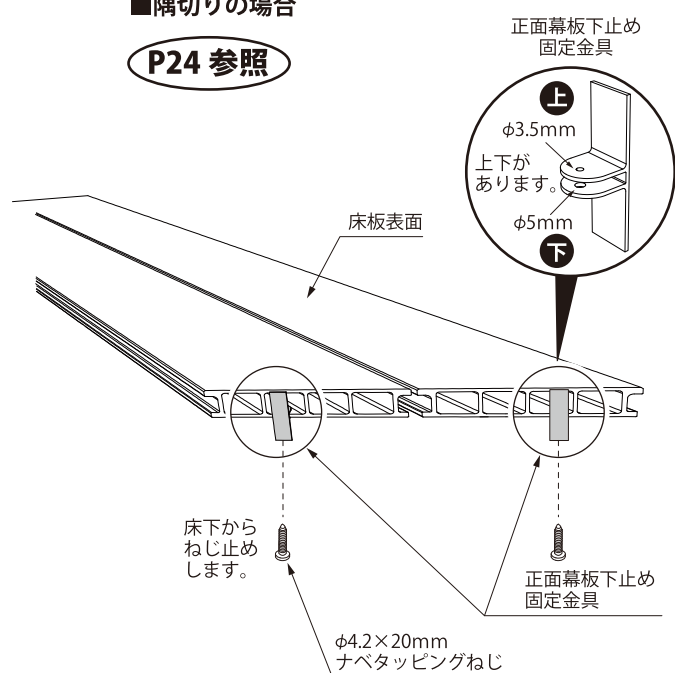
取付けピッチは、450mm 以内 (床板 2 枚毎) にしてください。
正面幕板の始まりと終わり、および幕板連結部に取付けてください。
※ステップを取付ける際は P37 を参照してください。



【2】正面幕板下止め固定金具の取付け

■隅切りの場合

P24 参照



正面幕板固定金具と正面幕板下止め固定金具は、隅切り部の始まりと終わりに取付けて下さい。

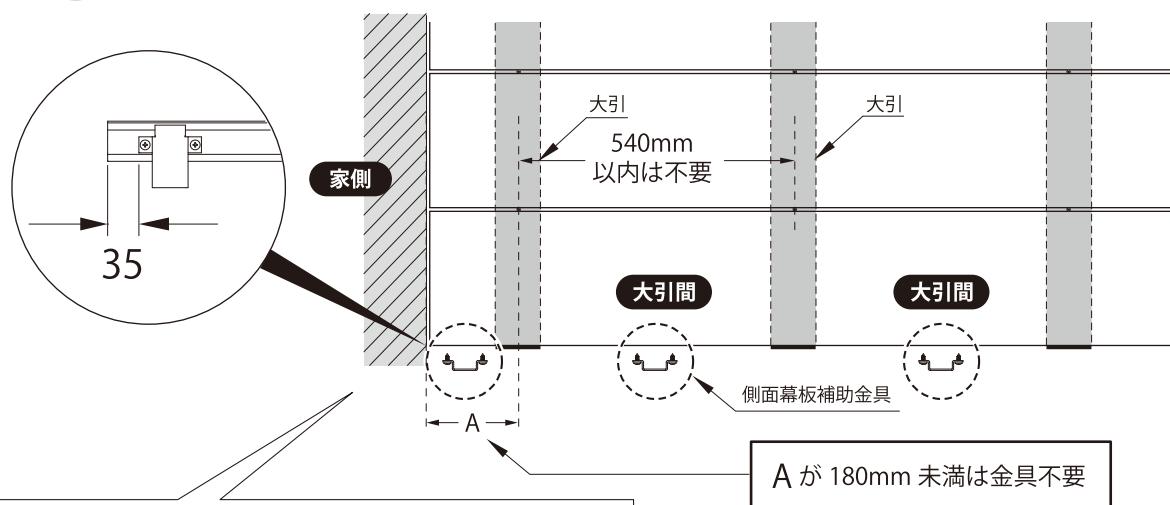
- ① 正面幕板下止め固定金具は P24 に準じてφ4.5mmの下穴をあけてください。
- ② 床板を元に戻し、床板を設置後、再度正面幕板下止め固定金具を差込み、φ4.2×20mmナベタッピンねじで床下からねじ止めします。金具の上下に注意してください。

【3】側面幕板補助金具の取付け

側面幕板補助金具を取付ける位置を確認してください。



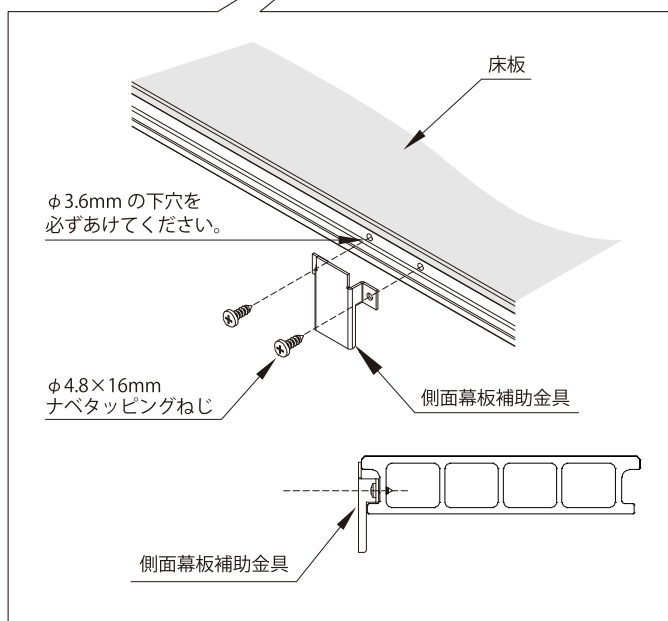
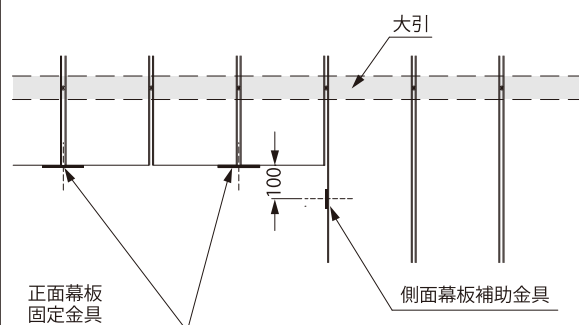
家側と大引間に取り付けてください。大引の芯々が 540mm 以内の場合は不要です。
必ず幕板連結部に取り付けてください。



(単位: mm)

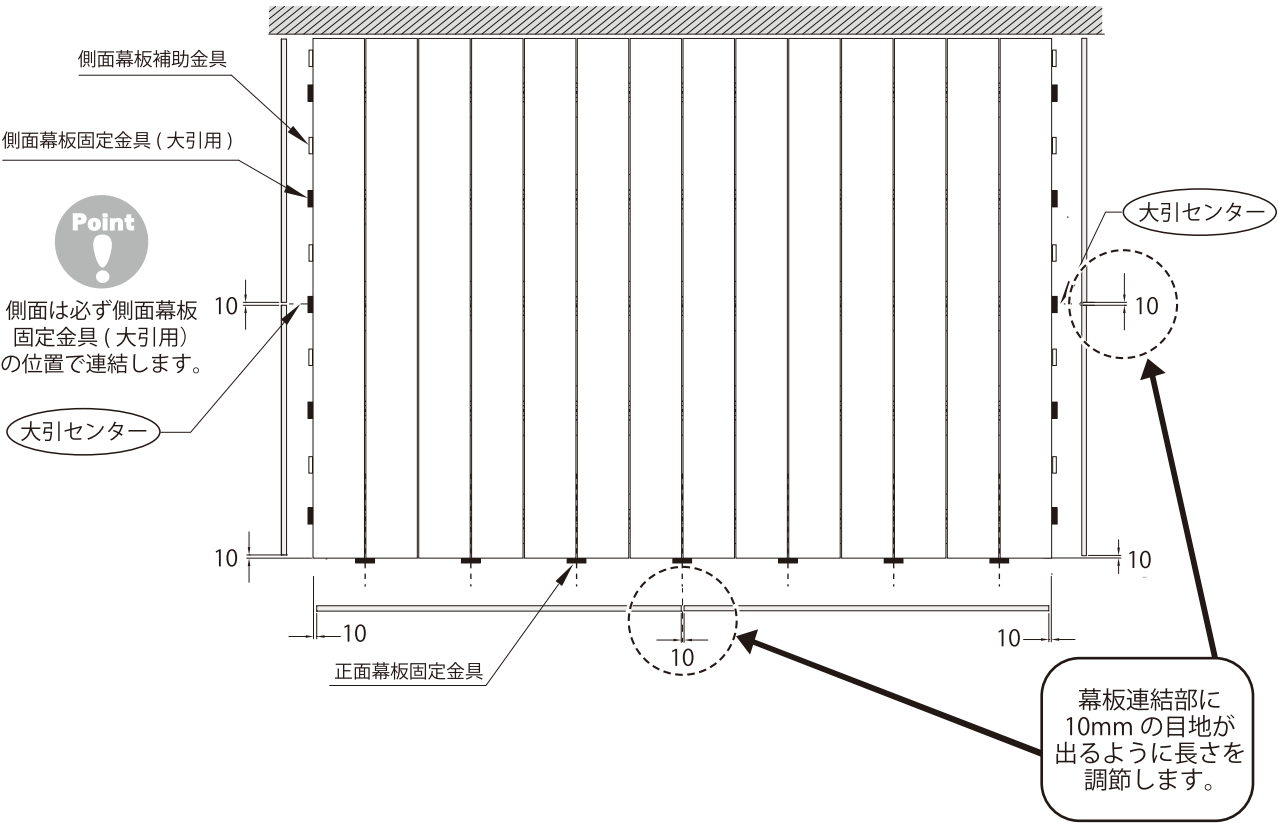
■入隅の場合の幕板補助金具の追加

入隅の場合、下図の位置に各幕板固定金具を追加してください。

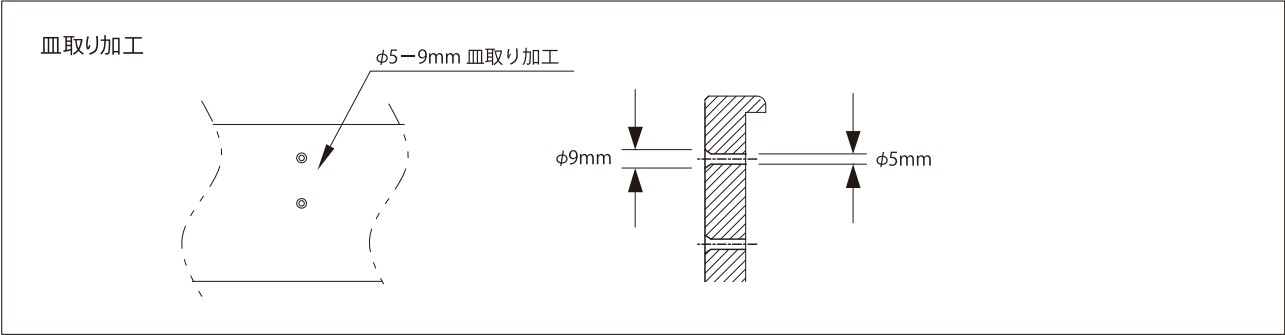


【4】幕板の加工

■幕板の切断調整

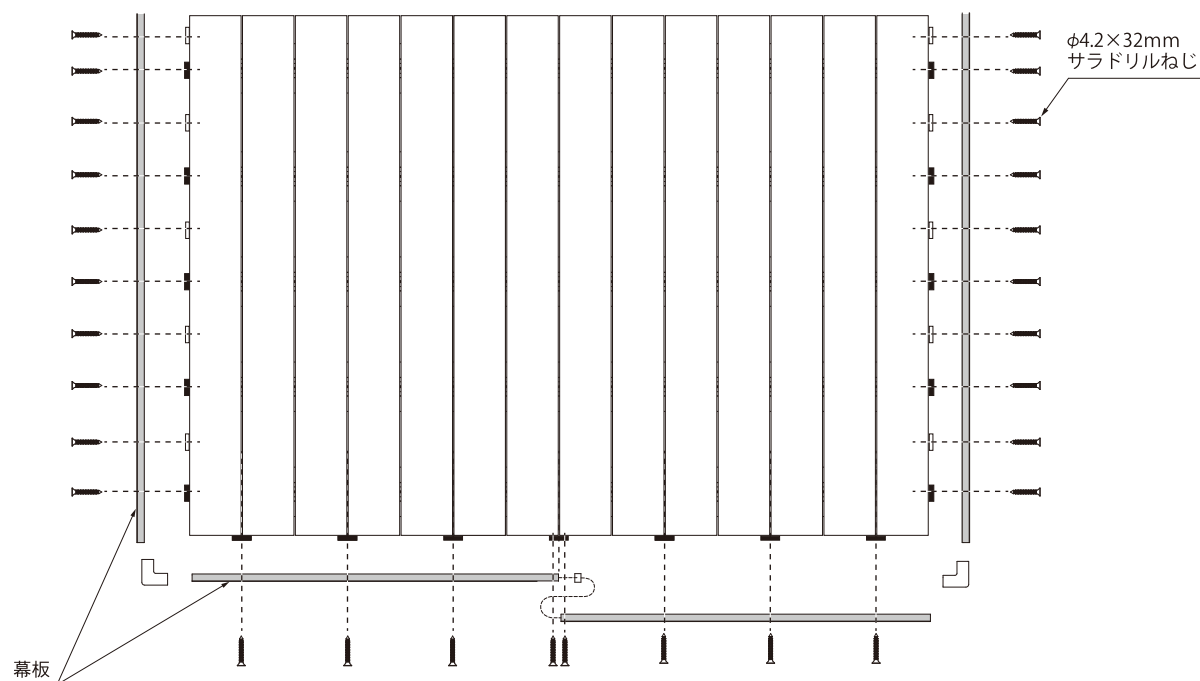


■幕板の穴加工

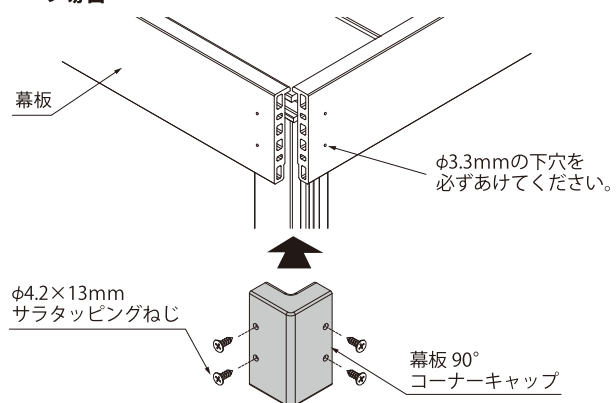


【5】幕板の取付け

下穴加工が済みましたら、幕板を取付けます。



■幕板 90°（出隅用）コーナーの場合



【6】完成

